

教職員アンケート結果より

I 成果

- ①町内幼小中高校との連携を積極的に行うことができた。特に訓子府高校教諭による「星の授業」は子どもたちのよい学びとなった。
- ②教職員の服務規律順守の意識が高いことが伺える。体罰やハラスメントなどへの理解を深めることができた。
- ③各分掌が連携をとり、効率的に学校運営を進めることができた。

II 課題

- ①挨拶、安全、後始末の定着が十分ではないこと。
- ②基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底が十分ではないこと。
- ③宿題や家庭学習の継続が十分ではないこと。

今後に向けて

- ◎挨拶と基本的学習ルールについては、「居小スタンダード」を意識した取組を推進していきます。
- ◎11月からクロームブックの日常的な持ち帰りを実施しています。さらに、家庭学習に効果的に活用できるよう取組を進めていきます。

学校運営協議会居武士小学校部会より

I 成果

- ①訓小との交流学习が盛んに行われるようになった。訓中では、共に学ぶことになるので、今後も積極的に取り組んでほしい。
- ②個に応じた指導をしていただけていると考えている。
- ③地域の方々の協力と先生方の丁寧な指導により、素晴らしい教育活動が行われている。

II 課題

- ①職員評価で「目指す子ども像」に関わる評価が低かった。
- ②全国的に教員の働き方改革が課題となっている。
- ③先生方には、個に応じた指導をしていただけていると考えている。これからも、子どもたちが余裕をもって学ぶことが出来るゆとりのある授業の進め方を心がけてほしい。

今後に向けて

- ◎訓子府小学校との交流については、今後も目的を明確に持ち、回数を増やすなど取組を充実させていきます。
- ◎児童、保護者からの声をしっかり受け止め、職員間で情報を共有し、適切に対応できるよう改善に努めます。

保護者アンケート結果より

I 成果

- ①学校は、児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらをさらに伸ばすように努めている。
- ②学校が児童の悩みやいじめなどに真摯に応じ、適切に対応している。

II 課題

- ①3つの「あ」（挨拶・安全・後始末）に気を付けて生活することが十分でない。
- ②宿題や家庭学習への取組を進んで行っている割合が前期よりも下がった。
- ③家庭での読書活動の充実に向けての取組が十分ではない。

今後に向けて

- ◎子どもたちが進んで挨拶ができるよう、今後も家庭・地域と協力しながら取組を進めていきます。
- ◎クロームブックを活用しての家庭学習の充実に力を入れていきます。
- ◎読書習慣の充実については、町の図書館司書とも連携し、子どもたちが本に親しみを持てる環境づくりに努めます。

児童アンケート結果より

I 成果

- ①子どもたちは、学校での勉強は分かりやすく、学校に行くのは楽しいと思っている
- ②困ったときや悩んだとき、先生方はきちんと相談にのってくれると感じている。
- ③仲間はずれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にし、学校の決まりを守っていると考えている。

II 課題

- ①歩いて登校したり、体を使って遊んだりしている割合が前期に比べ下がっている。

今後に向けて

- ◎子どもたちが安心・安全に過ごすことができる学校環境を維持するとともに、子どもたちが主役となり分かりやすい授業づくりに取り組んでいきます。
- ◎徒歩通学の奨励などを積極的に行う事で、冬季の運動不足解消などにつなげていきたいと思えます。